

一

問一 a 大勢 b 盛(ん) c 委(ねる) d 領域 e 若干

問二 イ ウ エ ア

問三 A ア C ア

問四 異口同音

問五 イ

問六 ア

問七 「命にかかわる選択」

問八(例) 患者自身の命にかかわる重要な問題だから。

(別解) 医療の場の主人公は医師ではなく患者本人であるから。

問九(例) 医療の世界が患者の自己決定権を尊重する傾向にあり、医療技術も進歩しているから。

問十(例) 医療の世界全体として、このころ患者の自己決定権を尊重する傾向が強まっている。また、医療技術のめざましい進歩により、様々な治療法や検査法が増え、自分の希望に関係なく「命にかかわる選択」をしなければいけなくなってくる。

二

問一 A 言う C 違う

問二 ウ

問三 身の内にくくない。

問四 伊藤が、くいた実情

問五(例) 監督は、走らない三堂貢には何の意味もないと言うが、貢は自分で走ることを選び、走るとは自分の一部であると思っているから。

問六(例) 走るこの意味や、走ること以外の自分の価値を考えること。

問七 ア

問八(例) 走るとは自分の一部だと言い切れるように、自分を保ち、走りを完璧に制御し、誰よりも速く走ること。